

# 合併記念フェスティバルを開催

3月27日を  
成田市民の日  
と制定

新市誕生を祝う成田市・下総町・大栄町合併記念フェスティバルが、4月29日、成田国際文化会館で開催されました。式典では「市章」「市民の日」が制定され、小林攻成田市長、可瀬力前下総町長、佐藤末勝前大栄町長の3氏が合併功労者として総務大臣表彰を受けました。また、中央広場での成田・下総・大栄各地区の特産品の展示・販売、外国人の民俗舞踊、キャラクターショーをはじめ、さまざまな記念イベントが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。本号ではこの式典の様相を紹介します。



式典では「市章」や「市民の日」が制定されました



議会を代表しあいさつする  
岩澤衛市議会議長



式辞を述べる小林攻市長



新市章をデザインした岸宗彦さんに表彰状が授与される

# 「空港、交流、希望」創造都市成田の実現を目指し

成田市長 小林 攻

このたび50数年前の昭和の大合併により誕生した成田市、下総町、大栄町は、平成の大合併を経て今一つとなり、新たなまちづくりを目指すこととなりました。このたびの合併に至る道のりは必ずしも平坦ではなく、幾多の紆余曲折を経て、平成16年3月1市2町による合併協議会が設置されました。その後約2年間にわたり、合併協議会委員、1市2町の議員の皆様はじめ、多くの皆様のご理解とご協力により、新市建設計画の策定など合併にかかるさまざまな課題を克服し、本日を迎えることができましたのは誠に感慨無量であります。同時に新生成田の市政を担う者として、その責任の重さをひしひしと感じているところであります。

ここに改めて、これまで市町村合併に真摯に「対峙し、信念と情熱をもって取り組んでこられた可瀬前下総町長ならびに佐藤前大栄町長はじめ、ご尽力いただきました多くの関係者の皆様に対し衷心より敬意と感謝を申し上げます。

新成田市は、北に利根川、西に印旛沼を配する豊かな自然と肥沃な大地に恵まれた北総の風土の中にあります。日本の空の表を闊くある成田国際空港、歴史と伝統ある成田山新勝寺や宗吾霊堂、さらには滑河観音、大慈恩寺を擁する『動』と『静』、二つの顔を併せ持つ国際空港都市として新たな飛躍と発展を目指して進み始めました。

現在、国・県をはじめ多くの関係者の皆様のお力により、成田国際空港平行滑走路の2,500m化、空港アクセスの充実強化に向けた成田新高速鉄道の

建設、首都圏中央連絡自動車道や北千葉道路の整備など、本市の将来の礎となる大きな事業が、一步一步着実に進展しているところであります。

市では、「市民が主役のまちづくり」を基本理念に、「空港、交流、希望」創造都市成田」をテーマとして、平成18年度を初年度とする「成田市新総合計画」を策定したところです。わたくしは、この新総合計画を踏まえ、本市のあるべき姿をしっかりと見据えながら、新市の均衡ある発展と一体感をもったまちづくりに全力で取り組み、この合併が未来にわたって市民の皆様が高い評価をいただけるものにしていきたいと考えております。

また、下総地区・大栄地区の皆様におかれましては、合併によりこれまで大切に守り続けてきた町の名はなくなりましたが、これまで長年にわたり築き上げてきた町の歴史、文化や伝統・産業は、新市の中に生かされ、永遠に受け継がれていくものと確信しております。

新成田市は、12万市民の皆様の夢と希望を乗せ、新たな船出をいたしました。今日の感激を明日の糧として、次世代に誇れるすばらしい成田市を市民の皆様とともに創り上げることをごにお願い申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様、市民の皆様のごこれまで以上のご支援とご協力をお願い申し上げます。また、本日ご臨席を賜りました皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

(式典の式辞より抜粋)



式典に花を添えた成田小学校合唱部(右)と成田国際高等学校吹奏楽部(上)の記念コンサート



合併功労者総務大臣表彰を受ける小林市長



合併功労者総務大臣表彰を受け、あいさつする可瀬力前下総町長(左)・佐藤末勝前大栄町長(右)